



2019年10月27日  
No.45

日本共産党岡山市議団  
岡山市北区大供 1-1-1  
tel 086-803-1707  
fax 086-234-9388

林じゅん



## 海ごみ対策と ボランティア支援

海ごみは世界的な問題になっていきます。

2016年のダボス会議で、海の中のプラスチックの重量が2050年には魚を上回る、との試算が示されました。

世界各国がプラスチック製品自体の削減に取り組みようとしています。

9月議会で林じゅん議員

は、海ごみの回収ボランティアに参加した経験を踏まえて、ボランティア支援と発生抑制について質問しました。

### 回収支援の充実を

海ごみには、機械が必要な重量物と、人手でなくては回収しにくい細かいものがあります。

重たいプロパンボンベ(上写真)は、人力では運べません。流木に絡みついた漁網やロープも大変です。ペットボトル、発泡スチロールトレイ、小さなタイヤなどは拾って、漁船で運ぶことができます。

ただし陸地まで持つとき



てからの処分も大変です。市は、海ごみ回収にボランティア袋を提供しています。さらに回収支援の充実を求めたところ、相談に乗っていくとの答弁でした。

### 広域での取り組みを

海に広がってしまったからの回収は困難です。発生抑制や用水路・河川の段階での回収が大切です。また海ごみは自治体の範囲を越えて広がります。県・国との連携した対応を求めました。



用水路に浮いて溜まるごみの様子

## 学校司書の大切さ

6月議会で学校司書の充実を求める陳情が継続審査になっていました。

会計年度任用職員制度の導入に伴い、司書の処遇と配置を危惧し、充実を求める内容です。

林じゅん議員は、学校司書の果たしている大切な役割について個人質問で取り上げました。児童・生徒がいる時間の開館と、教員と連携して継続性をもって学校教育に取り組める条件を

保障するために、会計年度任用職員ではなく正規職員での配置を求めました。

また、全国的にも先進的な取り組みである学校司書の一人の配置の堅持を求めました。

会計年度任用職員の導入は進められますが、全校配置については守っていくとの教育長の表明がありました。

陳情は、今議会では全会一致で採択されました。

## 劇場は独自判断で

市民会館・市民文化ホールに代わる施設として市が整備を進めている岡山芸術創造劇場(仮称)は、表町三丁目の再開発ビルの区分所有になります。

50年後には検討が必要になる大規模改修や建て替えに際しては、劇場部分はマンションや事務所部分に左右されずに市が独自に判断して実施できるようにしておくべきだと求めました。

その姿勢でいく、との答弁でした。

新しい劇場は2022年の秋に開館予定です。